

読む

描写から読み取るつ(3)

名前

やってみよう

【1】 の部分から、ごんの行動を順を追って抜き出し、次の文を完成させましょう。

かごの中からいわしを

\_\_\_\_\_

もと来た方へ

\_\_\_\_\_

うちの中へいわしを

\_\_\_\_\_

あなへ向かって

\_\_\_\_\_

【2】 —線Aの部分から、ごんのどんな気持ちが想像できますか。ふさわしいものに「」をつけましょう。

\* 兵十を困らせよう。

( )

\* いわし屋につぐないをしよう。

( )

\* もつと兵十を喜ばせよう。

( )

【3】「ごんが「これはしまった」と思ったのはなぜですか。ふさわしいものに「」をつけましょう。

- \* 自分のしたことで兵十に迷惑をかけたから ( )
- \* 兵十がいわしを食べてはらをこわしたから ( )
- \* 兵十はいわしよりもつなぎがすぎだったから ( )

【4】 —線イの部分のごんの行動は、【1】の行動と比べると気持ちの変化が見られます。ごんの行動のどの部分に違いがみられますか。違いのみにられる部分を丸でかこみましょう。

「ごんはこう思いながら、そつと物置の方へ回って、その入り口に、くりを置いて帰りました。その次の日も、次の日も、ごんは、くりを拾っては、兵十のうちへ持ってきてやりました。その次の日には、くりばかりでなく、松たけも二、三本、持ってきてきました。」

(前略)

いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道ばたに置いて、ぴかぴか光るいわしを両手でつかんで、弥助のうちの中へ持って入りました。ごんはそのすき間に、かごの中から、五、六ぴきのいわしをつかみ出して、もと来た方へかけだしました。そして、兵十のうちのうち口から、うちの中へいわしを投げ込んで、あなへ向かってかけもどりました。とちゅうの坂の上でふり返ってみますと、兵十が、まだ、いどの所で麦をといでいるのが小さく見えました。

ごんは、うなぎのつぐないに、まず一つ、いいことをしたと思いました。

次の日には、ごんは、山でくりをどつさり拾って、それをかかえて、兵十のうちへ行きました。うち口からのぞいてみると、兵十は、昼飯を食べかけて、茶わんを持ったまま、ぼんやりと考える中でいました。変なことには、兵十のほつぺたに、かすりきずが付いています。どうしたんだろうと、ごんが思っていますと、兵十がひとり言を言いました。

「いったい、だれが、いわしなんかを、おれのうちへほうりこんでいったんだろう。おかげで、おれは、ぬす人と思われて、いわし屋のやつに、ひどい目にあわされた。」

と、ぶつぶつ言っています。

ごんは、「これはしまった」と思いました。「かわいそつに、兵十は、いわし屋にぶんなぐられて、あんなきずまで付けられたのか。」

ごんはこう思いながら、そつと物置の方へ回って、その入り口に、くりを置いて帰りました。次の日も、次の日も、ごんは、くりを拾っては、兵十のうちへ持ってきてやりました。その次の日には、くりばかりでなく、松たけも二、三本、持ってきてきました。」

(前略)

いわし売りは、いわしのかごを積んだ車を道はたに置いて、びかびか光るいわしを両手でつかんで、弥助のうちのの中へ持って入りました。ごんは、そのすき間に、かごの中から、五、六びきのいわしをつかみ出して、もと来た方へかけだしました。そして、兵十のうちのうら口から、うちの中へいわしを投げ込んで、あなへ向かってかけました。とちゅうの坂の上でふり返ってみますと、兵十が、まだ、いどの所で麦をといでいるのが小さく見えました。

ごんは、うなぎのつぐないに、まず一つ、いいことをしたと思いました。

次の日には、ごんは、山でくりをどっさり拾って、それをかかえて、兵十のうちへ行きました。うら口からのぞいてみますと、兵十は、昼飯を食べかけて、茶わんを持ったまま、ぼんやりと考えるでいました。変なことには、兵十のほっぺたに、かすりきずが付いています。どうしたんだらうと、ごんが思っていますと、兵十がひとり言うので、ごんが「これはいわしなんかを、おれのうちへほうりこんでいったらう。おかげで、おれは、ぬす人と思われて、いわし屋のやつに、ひどい目にあわされた。」と、ぶつぶつ言っています。

ごんは、「これはしまった」と思いました。「かわいそうに、兵十は、いわし屋にぶんなぐられて、あんなきずまで付けられたのか。」

ごんはこつ思いながら、そつと物置の方へ回って、その入り口に、くりを置いて帰りました。次の日も、次の日も、ごんは、くりを拾っては、兵十のうちへ持ってきてやりました。その次の日には、くりばかりでなく、松たけも二、三本、持ってきていました。

やってみよう

【1】の部分から、ごんの行動を順を追って書き抜きましょう。

つかみ出して

かけだしました

投げ込んで

かけもどりました

もと来た方へ  
うちの中へいわしを  
あなへ向かって

【2】——線アの部分から、ごんのどんな気持ちが想像できますか。ふさわしいもの( )一つ をつけましよう

兵十を困らせよう。  
いわし屋につぐないをしよう。  
もつと兵十を喜ばせよう。

( )  
( )  
( )



どっさり拾っての「どっさり」がなかったらどんな感じがしますか？。わざわざ「どっさり」拾うごんの姿は、兵十に喜んでもらいたい気持ちがいっぱいですね。

【3】ごんが「これはしまった」と思ったのはなぜですか。ふさわしいもの( )一つ をつけましよう。

自分のしたことで兵十にめいわくをかけたから ( )  
兵十がいわしを食べてはらをこわしたから ( )  
兵十はいわしよりもうなぎがすぎだったから ( )

【4】——線イの部分のごんの行動は、【1】の行動と比べると気持ちの変化が見られます。ごんの行動のどの部分に違いがみられますか。違いのみのられる部分を丸でかこみましよう。

ごんはこつ思いながら、そつと物置の方へ回ってその入り口に、くりを置いて帰りました。

ごんはこつ思いながら、**そつと**物置の方へ回ってその入り口に、くりを置いて帰りました。



【1】のごんは乱暴に魚をあつかう様子やいそいでいる感じが感じられましたね。【4】の部分では「そつと」動いて、栗を投げるのではなく置いたところが違いますね。

いいことをしたつもりが、自分が投げ込んだいわしのこと兵十がなぐられたわけだから。

ごんの行動からはどんな様子が想像できますか。「つかむ」と「つかみ出す」、「投げる」と「投げ込む」の違いからも、いそいでいるごんの様子がかえる書き方ですね。